

比較日本学教育研究部門研究年報 第20号 目次

《巻頭言》

神田 由築	3
-------	---

《第25回国際日本学シンポジウム》わたしにお茶大がくれたもの—あなたにとってはなんですか?—

神田 由築・芹澤 良子 【総括】	6
------------------	---

問題提起

加藤 厚子 「女子大」とは何か —女子大学をめぐる研究視角—	8
和田 華子 史料が語る女子大学生の活動 —お茶の水女子大学を事例として—	15
芹澤 良子 お茶の水女子大学の経験を活かす —聞き取りでつむぐ卒業生のあゆみ—	24

パネル報告

仲田 秀 お茶大生協と私の大学生活 —学生時代~定年後の大学院 結果として大学生協—	31
丸田 孝子 小さなお役だちと大きな宝物	34
范 淑文 私にお茶大がくれたもの —留学生活が帰国後の糧に—	37
土屋由里子 卒業して半世紀 いま思うこと —仕事と歌 二刀流の人生を生きて—	39
原 容子 「専業主婦？」は大忙し —たかさんの出会いに導かれて—	42

《第18回国際日本学コンソーシアム》日本文化の中のバーチャル

◆日本語・日本語教育部会

土屋はる野 「朝ドラ」における夫婦間の呼称 —関係性の変化に着目して—	46
李 禹錫 日本語におけるミラティブ性の表現について —ミラティブのタ形の意味用法を中心に—	53
趙 萱 対義形容詞「明るい」と「暗い」の意味的非対称性に関する一考察 —アフォーダンスの視点から—	60
黄 鈺涵 紙芝居を音読教材として用いる試み —JFL日本語学習者を対象に—	66
朱桂榮、彭子燕、楊鎔溪 中国の大学の日本語教科書における登場人物の設定に関する研究	73
加藤直子、Nguyen Van Anh 日本文化の中で高学歴移住女性のキャリア観はどのように変化するのか —複線径路等至性アプローチ (TEA) を用いて分析した ベトナム人女性のインタビューを通して—	80
太田かのん、エルデネー・ビンデリア 【概要】	86

朱桂榮、楊鎔溪、彭子燕	会話文における人物設定と物語展開が授業に活用されるのか —中国人日本語教師を対象とするインタビュー調査—	89
-------------	---	----

◆日本文化部会

邱 冠禎	唐帝国への貢ぎ物について —踊り子を中心に—	97
潘 蕾	院政期の「乳母の家」の役割に関する考察	102
バフヴァロヴァ・アナスタシヤ	近世西日本における遊女の動向 —下関を中心に—	110
大野 舞	日本の「新書」の形が目指したものとその変遷 —歴史と生産過程から「新書」の存在を読み解く試み—	116
須田 華那	【概要】	123

◆日本文学部会

曹 怡	京極派歌人の「柳」詠考 —水墨画との関係について—	125
鄭 子焜	夏目漱石『こころ』論 —家制度から脱出するKの行動分析—	131
洪 瑟君	金子光晴の児童文学作品研究 —「戦争」の表象を中心に—	138
王 一飛	フィクションにおける「核」のノンフィクション —『モスラ』と『風の谷のナウシカ』の怪獣表象—	145
高 萌	【概要】	152

《国際日本学講演会》

第6回 国際日本学講演会

森 暁子	「研究」と歩き回る —日本文学からあちらこちら—	156
------	-----------------------------	-----

第7回 国際日本学講演会

堀内由樹子	「研究」と歩き回る —心理学と私—	172
-------	----------------------	-----

《研究論文》

鈴木 朋子	加藤咄堂における女性の修養	192
-------	---------------	-----

《比較日本学教育研究部門活動報告》

部門活動報告	204
研究プロジェクト活動報告	207
投稿規定	213
バックナンバーのご案内	215
編集委員より	215